

顎が外れた 1 year ago ～ガラスの顎を持つ青年～

第7期 OB 諸角 陽太

出会いと別れと顎の脱臼は突如として訪れるものだ。2013年2月23日23時頃、わたくし諸角陽太の顎が突如として外れた。2010年12月22日の小野ゼミにおける忘年会以来の経験である。本作は、そんな2年ぶりの一大事を記念して贈る完全脱臼ドキュメントである――

2013年2月23日。職場の先輩や同期と飲んでた時だった。

諸角「…？ …？ …！！！」

飲んで喋ってにやにやして。特別何をしたわけでもなく、ただ、しかし確実に、顎はその時外れた。トイレに駆け込むオレ、諸角。人生2度目の顎関節脱臼に、冷静だった。1つの結論に至る。

…病院に行こう。

トイレから出て、完全にしゃくれた状態で、僕は同期のK君に近くの病院に連れて行ってもらった。余談だがタクシー代700円はもちろん僕が払った。本当は少し払わせようともしていた。病院の受付で、K君は受付に言った。

K君「友人の顎が外れました、原因？ わかりません。」

笑いをただひたすらに耐えるオレ、諸角。すると受付は、予想だにせぬ答えをよこした。

受付「当院では、顎はやってないんですよ。」

『顎はやってない』というフランクな口ぶりに、もう一段階顎が痛くなる。僕は病院を出た後、ひとまずK君に家に帰ることを告げた。「大丈夫？」と心配してくれた。「はいほ一ふ」と返答した。無論『大丈夫』と言ったつもりだが、『はいポーズ』と受け取られていないか心配だった。

最寄り駅から救急車に乗った後、僕はFacebookで顎が外れたことを報告したり、そのコメントに返信したりとかなり忙しかった。後ろでは救急員の「24歳男性、顎が外れました。」「24歳男性、病院を探しています。」「24歳男性、飲んでいたら外れたそうです。」という声が響く。病院到着。

いよいよ治療の出番。僕を担当した先生は、己の全体重をかけ、僕の顎を直した。ちなみに専門ではないらしく、1度さらにずらしてしまった時には、ちょっと殴ろうと思った。先生は、「ひとまず応急処置として直ただけですから。必ず近々専門医に見せて下さい。」と言った。先生は、「紹介状を書いておきますが、病院は少し探してみてください。」と言った。先生は、無力だった。

休日の火曜。専門医のいる病院に颯爽と向かった。幾分待たされ入室した先は『歯科口腔外科』。なるほど、これ以上ない専門医だ。先生は症状を聞き、いくつかの質問のあと、早速顎を見てくれるという。

先生「では、もし外れても僕直せますので、思いっきり開けられるところまで口を開けてみて下さい。」

諸角「はい。…。…。あはあ！！」

危うく目の前で本当に外れそうになったのを見て、先生は再び質問に入った。

先生「諸角さんは、体の関節は柔らかい方ですか？」

諸角「えーっと、器械体操をしていたので、股関節だけ柔らかいです。」

先生「あーそうですか（笑）たとえば、手のひらを反らせた時に腕につくとかは？」

諸角「全く。」

先生「そうですか。今何か病気やケガで医者にかかっているとかはありますか？」

諸角「湿疹がひどいので、このあと皮膚科に行こうと思っています。」

先生「そうですか。特別かかっていないということですね。」

諸角「はい。」

先生「わかりました。」

先生はおもむろに頭蓋骨の模型を取り出した。そして、なぜ人類の顎が開くようになっているのか、それにはいかなる骨や靭帯が関与しているのかを、わかりやすく説明してくれた。わかったよ。さあ直してくれ、僕の顎関節症を。

先生「…というわけで、顎が外れた時には、無理やり閉じようとしても絶対に閉じません。本当は、左右の奥歯のあたりを下に押し下げてむしろ口をこじ開けるようにした方が入りやすいのです。ですが、自分でそれをするのはなかなか難しいですからね。外れた時は顎の力を抜いて、左右に下顎をスライドさせるようにすると、入ることもあります。」

諸角「…はあ。」

先生「…。」

諸角「…。」

先生「…？」

諸角「…え、で、今日先生はなんか直してくれはしないんですか？」

先生「正直に申し上げて、現在は顎が入っている状態から、これ以上良くすることは難しいです。」

諸角「これ以上良くするっていうか…全然良くないんですけど（笑）顎が前より結構『ガクガク（顎顎する）』っていうか。」

先生「そうですかあ…。」

どさくさにまぎれて上手い事を言ったのに気付いてもらえなかった。

諸角「あの、手術とかないんですか？ 顎関節症を改善するような。」

先生「一応ありますよ。保険の内容にもよりますが、10万円から20万円ほどでできる手術なんですけど。」

諸角「はい。」

先生「3 つほど方法があって。まずはここの靭帯を完全に…してしまって、そしてここの骨をさらに…して、口を開かなくする方法です。」

残り 2 つに期待がかかる。

先生「そしてもう 1 つが、…とすることで、顎は外れるけれども、それが治りやすくする方法。そしてもう 1 つが、…して口が開く大きさを小さく矯正する方法です。」

諸角「…つまり顎関節症自体を改善する方法はないということですね。」

先生「はい。現実的には、外れないように予防に努めていただくのが妥当かと。」

諸角「たとえば？」

先生「あまり喋らないですとか、あまり笑わないですとか。」

殺す気か。

先生「あと、日常で歯を食いしばるのもよくないです。」

諸角「普段むしろテレビ見ている時は、口を開いている方なのでそれは大丈夫ですね。寝ている時はわかりませんが。」

先生「寝ている時も、食いしばらないように注意して下さい。」

注意出来るか。

先生「あとはハンバーガーとか、あぁいったものもかぶりつかず、ちぎって食べるようにしましょう。」
世界的ファーストフード店、マクドナルドへの挑戦。

先生「あとあくび。あくびの時は大きく口が開かないように、顎をげんこつで押さえて下さい。」

諸角「…はい w」

先生「でもあくびって結構咄嗟に出たりしますよね。だからそれに備えて…」

それに備えて…？

先生「普段からあくびに注意して下さい。」

くつろげねえ。

その他、注意事項が書かれたプリントを僕にくれた。

『パンの皮の固いところや生野菜、肉の固いもの、長く噛まなければならないものは避けて下さい。』

ウイダーだけで生きろってか？

『チューインガムは無意味に顎を酷使しますから、ガムを噛んではいけません。』

無意味は余計だろ。

『前歯で物を噛んだり、噛みきったりしないで下さい。』

オレがビーバーなら、死を意味するぞ。

終盤、先生は思いもよらぬ攻勢に出る。

先生「一応、顎関節を矯正するギブスみたいなものがあるんですけど。」

諸角「それを早く出せ…あ、本当ですか！」

先生「ほら、寝ている間に外れるとか、結構不安じゃないですか。そういう時、これをすればいいかなと。」

諸角「はい！！ どんなものですか！？」

先生「これなんですけど。」

引き出しから小さなビニール袋を出し、そっと投げだす先生。ギブスというより、ただの布。

諸角「これは…w」

先生「包帯のようになっていて、圧迫することで顎を外れづらくするんです。」

2013年——羽のない扇風機、持ち運びできる通信機器、高感度GPSが世に出回り、ASIMOが自ら充電する意思を持ち、医療現場では地球の裏側にいる患者をも機械による遠隔操作で手術できるようになったこの時代の全ての技術、知能をもってしても、顎分野ではここが限界なのか。

諸角「い、いくらなんですか？」

先生「2,100円です。」

諸角「ブフッ www」

2013年——競争激化の中NTTが月額料金を2,000円以上値下げし、中古アパレルメーカーが3ケタで有名ブランドを提供し、食品業界が絶えず出荷コストを抑え効果的なプロモーション戦略にあえぐこの時代に…紙にも満たないこの布切れが…2,100円…。

結構手術の話あたりから耐えていたのだが、とうとう笑ってしまったオレ、諸角。

諸角「…ひとまず、その包帯、つけてみてもいいですか？w」

先生「いいですが、袋から出したら2,100円ですよ。」

諸角「ボッ www わかりました、かまいません(笑)」

開封したその最先端顎関節矯正ギブス 2,100円は、形状的に少し間違ったブラジャーのような出で立ちで僕と対峙した。クソ布を装着してもらった。顎を支えるように布を巻き、頭頂部でマジックテープを止めるという無駄のない作り。軽量化されたフォルム。最新鋭の白色。

先生「こんな感じですね。」

鏡をこちらに向ける先生。

諸角「ボファッ www こ、これが…2,100円なんですね…。」

先生「まあ一般には売られていないものですからね。」

諸角「ありがとうございました。」

帰宅後、就寝時にそのギブスを装着した。翌朝、マジックテープがはがれていた。